

心でつなぐ!成田への愛と情熱

千葉県議会議員 おだか ゆうか

小高 夕佳 Report

vol.2

Instagram
日々更新中



@YUKA_ODAKA

今月の
TOPICS

● 成田空港三本目の滑走路の着工式典に参加

● ミニ集会のお知らせ

ごあいさつ

皆さまこんにちは。
小高夕佳です。県議会議員として活動を始めてから、早くも2ヶ月が経過しました。この間、多くの地域の皆さまの声を伺いながら、一歩づつではありますが、私たちの生活に直結する身近な課題から今後の成田市の方向性を左右する大きな課題まで幅広く取り組ませて頂いております。

生活道路としての国道や県道の修繕や、通学路・生活道路沿いの木々の伐採といった日常の安全に関わる課題には迅速な対応を心がけ、実際にスピード感を持った対応をして頂いております。

そして、いよいよ成田空港の機能強化に向けた三本目の滑走路の本格着工が始まりました。私自身も、その節目となる着工記念式典に参列し、成田の未来を支えるこの大きな一歩を見届けてまいりました。この滑走路の整備は、発着能力の向上による国際競争力の強化にとどまらず、地域経済や雇用にも大きな波及効果をもたらすことが期待されています。

また、空港の機能強化に伴い、周辺の交通インフラも着実に整備が進められています。北千葉道路では今年度、土屋にあるイオンモール成田裏手にて橋梁工事が進行予定です。北千葉道路は、空港アクセスを最優先に据えて現在計画が進められており、空港までの開通後、四車線化が図られる予定ですが、先日も片側2車線で暫定運用を行っている北須賀区間において正面衝突事故が発生するなど痛ましい事件がありました。このような現実を踏まえ、地域の安全と利便性向上のためにも、北千葉道路の早期開通と四車線化の前倒しを強く求めてまいります。

さらに、県道成田小見川鹿島港線においても、圏央道の開通に合わせて天神峰地先～川上地先の四車線化が今年度予定されています。

空港と地域、私たちの生活は密接につながっています。これからも「現場第一」の姿勢を大切に暮らしの安全と成田の未来のため、力を尽くしてまいります。

小高 夕佳

発行元
連絡先

小高 夕佳 事務所

電話

070-7472-0218

〒286-0003 成田市台方272-1

メール

odaka.jimusho0218@gmail.com

2025年9月発行

変わったこと、 動いたこと、 これからのこと。

千葉県や成田市の将来について
また市民の皆さまから要望頂いた結果
変わったこと
感じていることなど
より政治を身近に感じて頂きたく
政治の「今」を
お伝えしたいと思います。

● 多文化共生施策を推進してまいります

先日5月22日に行われた第二回目成田空港外国人労働者定住促進協議会に、一回目の会議に引き続き参加して参りました。この会議は空港関連企業で働く外国人労働者を受け入れている企業を中心に課題の共有や先進事例などを共有する協議会です。成田市の外国人人口は1万人を超え、これからも増加傾向にあることから、成田市内においても本格的に多文化共生施策の推進が急務です。他市の前例を見ますと、人口の約1割が外国籍の方となると共生に向けて取り組まれている市町村が多い印象です。第二回目の会議では成田市からも関係各部署から出席して頂き、成田市の熱意を感じる機会にもなりました。多文化共生施策については国の補助制度も多く、千葉県としても補助を出していることのあるので、持続可能な財政運営の視点で国や県をつなぐ立場で多文化共生施策を推進してまいります。

● 義民宗吾の舞台、甚兵衛公園を整備します

国の名松百選にも選ばれている甚兵衛公園(成田市北須賀地区)ですが、昨年11月に突如樹齢400年を超える松が2本折れてしまいました。年間を通し管理を行っていたにもかかわらず発生した事故でした。幸いな事に重大事故には至りませんでした。国道464号線塞ぐ形で巨木が倒れたため迅速な復旧作業が求められ千葉県には迅速な対応をとって頂きました。私も大型免許を持っているため、現場での復旧作業にあたり7時間後には無事開通となりました。その後折れた松の対応について、地元では心配の声がありましたが、市や県と協議させて頂き、倒木箇所が国道464号線に面していることからこの度、千葉県で倒木箇所の整備をして頂けることになりました。

● 成田空港機能強化に向けた地域連携の重要性 ～エアポートシティ構想の着実な実現に向けて～

現在、成田空港では将来的な発展と国際競争力の強化を目指し、「エアポートシティ構想」の実現に向けた取り組みが進められています。その中心的役割を担う組織として、地域と空港の連携強化を目的に「成田エリアデザインセンター」が設立されました。空港を核とした地域の新たな発展モデルに、大きな期待が寄せられています。

一方で、新滑走路の整備に必要な用地の取得率は、依然として約83%にとどまっており、用地取得の進展は喫緊の課題となっています。こうした状況を受け、用地取得を加速するための新たな協議体も設立されましたが、今後は地域住民や関係者とのさらなる対話と信頼醸成が不可欠です。仮に用地取得が停滞すれば、エアポートシティ構想そのものはもちろん、首都圏アクセスの改善を見据えた鉄道の複線化協議など、空港機能全体の強化に向けた取り組みにも影響が及びかねません。空港機能の強化は、個別の整備にとどまらず、空港全体の成長戦略と一体的に進めていく必要があります。

構想の具体化にあたっては、「どの主体が責任を持って事業を推進するのか」「実施体制をどのように構築するのか」といった点について、現時点では必ずしも明確にされておらず、今後検討・整理すべき課題が多く残されています。

こうした課題に正面から向き合い、透明性の高いプロセスと丁寧な合意形成を重ねながら、空港と地域がともに成長できる仕組みづくりが必要です。エアポートシティ構想は、単なるインフラ整備ではなく、地域経済や暮らしの質を高める絶好のチャンスでもあります。

私たちも、空港の機能強化が地域にもたらす可能性を信じ、慎重かつ着実な推進を後押ししてまいります。市民の皆様の声を大切にしながら、持続可能で魅力ある成田の未来づくりに取り組んでいきます。

「なんでも相談」 ミニ集会開催のお知らせ

市議時代から議会報告会などを通じて感じていた、地域コミュニティや自治会の減少といった危機感を受け、市民の皆様が気軽に相談できる場を作ろうと「なんでも市民相談室」を考えました。市政や県政といった垣根を越えて、皆様の「生」の声を拝聴すべく開催いたします。お気軽にお立ちよりください。ご来場お待ちしております！

6/29
10:00~12:00
もりんぴあ
会議室E